



SUSUMU
NAKAMURA

発行
中村すすむ事務所

SUSUMU REPORT

中村すすむ 県政レポート

〒471-0832 豊田市丸山町10-5-1 TEL 0565-71-1555
2019年5月 発行

Vol.51



『すすむレポート』も最終号を迎えました。議会での審議内容や視察の報告、議員活動などの記事を掲載してきました。ご愛読いただいた皆様に心より感謝申し上げます。後継の桜井ひできさんも初当選を果たし、私もホッとひと息つけます。しかし、私たちの生活を取り巻く環境はまだまだ改善を要することばかりです。今後は生活者として、微力ながら安心できる社会づくりのお手伝いできれば…と思います。

永年にわたってご支援いただき本当にありがとうございました。

2月議会

外国人の雇用受け入れに日本語教育と労働環境改善を



最後の議会となりました。知事に対して質問できる機会を得ましたので、外国人労働者との共生のために県として何をすべきか、という観点で質問をしました。

昨年「出入国管理法」が改正され、技能・能力が高く働く意欲のある外国人がさらに多くなることが想定されます。労働環境、日本語教育など環境整備が必要。県が取り組んでいるモデル事業の成果を質問しました。

質問 外国人材の受け入れにとって日本語を通じたコミュニケーションはもっとも重要。日本語がほとんど分からない外国人を対象とした日本語教室の実施と、そこで教えるボランティアの育成や教材の作成を進めて、その成果を県内の自治体に展開するモデル事業を一宮市で展開しているが、現在の実績は？ また、日本語指導が必要な外国人児童生徒数は7,277人で全国最多。それに対応した日本語教育の教員は充足されているのか。

県民文化部 他 一宮市のモデル事業には、フィリピン・中国等7ヵ国27名が参加。指導者となるボランティア20名の養成と教材の作成を実施している。今後、県内市町村への普及が課題となる。日本語指導が必要な児童生徒は県全体で10年前の2倍の増加に対して教員は3倍に増やして対応してきている。新年度も60人増やして493人に。このうち88人は国の定数とは別に本県独自に配置したものだ。

質問 県は中小企業を対象に、外国人雇用の意向調査を実施。その結果、全体の7割で雇用しており、残り3割の中でも「今後外国人を雇用する意向あり」が8割を占めた。さらに外国人労働者の増加が想定されるが、どのような対応策を講じていくのか？ またこうした施策・情報を中小企業にまで届ける工夫は？

産業労働部 意向調査の結果、行政に期待する施策として「外国人の雇用方法や留意点」や「外国人とのマッチング機会」を求める声が多く、今後の施策に反映していく。こうした情報は市町村や商工会議所や業界などを通じて対象を明確にして、支援を必要とする企業にきめ細かく情報発信していく。



支援者から千羽鶴を贈られ当選を喜ぶ桜井氏(右)と奥様

桜井ひでき氏が県議初当選!

4月7日に投開票された愛知県議会議員選挙で、中村すすむの後継者として挑戦された桜井ひできさんが初当選を果たしました。

今回の投票率は51.39%と、選挙のあった8年前の60.42%を大きく下回る低投票率でした。政治に対する関心の低下が心配されますが、桜井さんには多くの皆さんに支援される議員になってもらいたいです。

| 氏名 | 期 | 票数 |
|---------|---|--------|
| 当 鈴木 雅博 | 2 | 39,058 |
| 当 神谷 和利 | 新 | 32,983 |
| 当 桜井ひでき | 新 | 31,133 |
| 当 樹神 義和 | 3 | 28,999 |
| 当 加藤 貴志 | 新 | 23,511 |
| 次 大村 義則 | 新 | 13,894 |

